

校内研だより no.7

四万十市立西土佐中学校

2020年10月13日 文責：福田

めざす授業 『一緒に考えたいくなる授業』（発問の工夫によるPDCAサイクルが機能する授業）

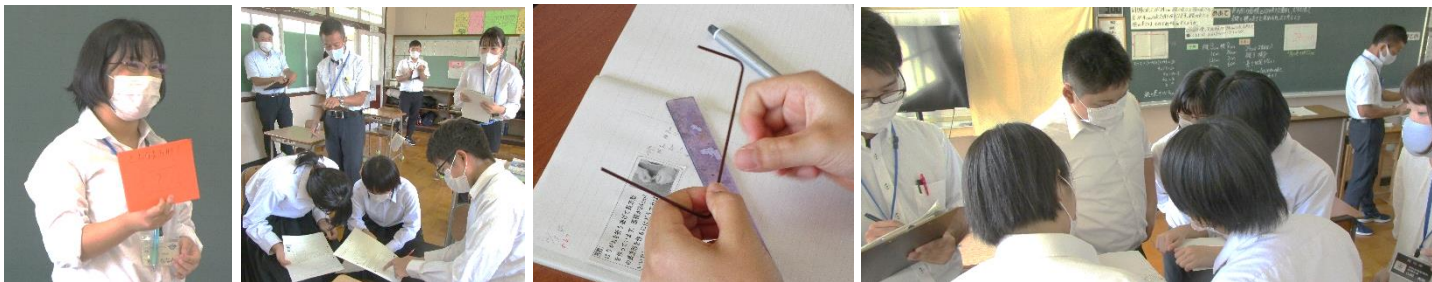
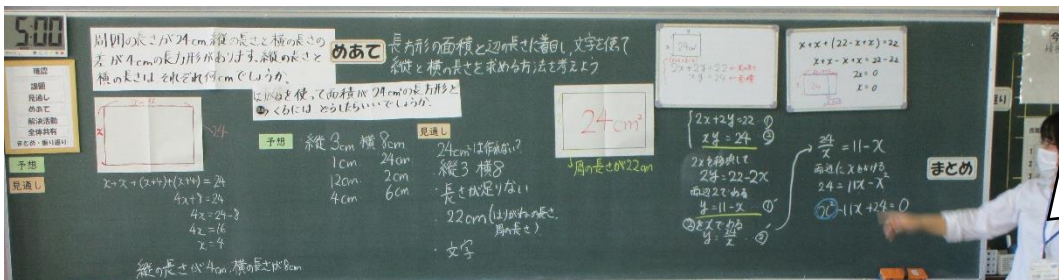
第2回のはずだった第1回組織づくり講座 3年数学『2次方程式』



αコースです。4名の生徒が全員でゴールを目指せるよう、得意のICTを駆使し、あの手この手で生徒の考えをつないでいます。宿題、やってきてくれるとうれしいなあ・・・。



βコースです。7名の生徒全員が、自分事として課題に向き合い、自分の言葉で考えを述べ合える授業を目指しました。



3年次と5年次のフレッシュな数学科ペア。1学期終わりからは全学年で少人数指導を行い、2人でアイデアを出し合いながら、授業を創り上げてくれています。今回の授業でも、本時に生かせるような予習プリントを工夫することで導入にし、「先生が作った長方形と同じものを作ってください。」と、クイズ形式で課題を提示。αコースではヒントを多くし、βコースではノーヒントで、生徒の気づきを大切にしながら、まずは個人思考、そしてペアやグループで話し合わせる過程を繰り返し、行きつ戻りつしながらゴールに近づいていきました。模擬授業ではヒモを使いましたが、きちんと長方形にならないため、本時ではカラー針金に変更するなど工夫しました。実物を操作することにより、思考が活性化していました。

3段階に挑戦した事後協議

本校教員は若手5名（講師、初任者、3年次2名、5年次）とベテラン6名の構成です。チーム会でも、年齢や経験は関係なく、意見を出し合え、積極的に協議ができています。そこで、今回の事後協議では、①チームに分かれて、授業の成果と課題をふせんに書き、自由に出し合う〈指導案拡大法〉、②授業を見る視点をもとにふせんを整理する〈Aチームはマトリックス、BチームはKJ法〉、③今後の授業改善に生かすことをしぼる〈短冊〉と、3段階にしました。チーム長が発表したまどめは、Aチームが『情報の精選』、Bチームは『思考を促す手立て』でした。

他校から参観に来てくださった先生方からご意見をいただいた後、『わたしの授業改善』で自分の授業改善に今日の学びを落とし込みました。久保学校経営アドバイザーさん、高知県教育委員会・四万十市教育委員会の指導主事の先生方、他校からの参観者の皆さん、貴重なご意見やご指導・ご助言をありがとうございました。西土佐小の先生方、お忙しい中、ご協力をありがとうございました。



《わたしの授業改善》

